

答 申 書

令和 2 年 1 月 1 7 日

飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会

令和2年1月17日

飯山市教育委員会
教育長 長瀬 哲 様

飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会
委員長 佐藤 正行



令和元年7月11日諮問いただきました、「学校・保育園の適正な規模や配置等」について
飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会設置要領第2条の規定に基づき答申します。

I 委員会への諮問内容

飯山市保育園・学校課題検討委員会の答申に基づいた、具体的な学校及び保育園の適正規模
や配置等について提言いただきたい。

II 答申内容

はじめに

昨年1月の飯山市保育園・学校課題検討委員会答申があり、具体的な適正規模や配置等について検討するため、飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会を設置、5回の委員会を開催し協議してきました。

少子化により、児童・生徒数が減少し、各学校において小規模化が進むなか、子ども達に必要な教育環境としての適正規模や配置等を議論し、取りまとめたものを提言します。

【小学校関係】

1 小学校教育のための適正規模

社会適応力を身につけ、切磋琢磨するなど、子ども達にとって必要な学校教育を進めるためには、一定規模の児童数は必要であり、複数学級とすることが児童にとっても学校運営としても適正であると考えます。

県の学級編成基準が1クラス35人以下であることから、複数学級とするには最低でも1学年36人以上の児童数が必要となり、学校全体では6学年で216人以上の児童数とすることが望ましい。

2 小学校の適正配置

南北に長い飯山市の特徴及び積雪等を踏まえ、通学距離・通学時間、低学年児童の体力等を考慮し、安全面や負担面に配慮した配置が望ましい。

3 具体的な小学校の配置

適正規模・適正配置の観点から、城南・城北中学校区それぞれで1校の統合小学校を配置することが望ましい。

4 具体的な統合小学校の位置

城南・城北中学校区の統合小学校の具体的な位置については、次の事項に基づき決定していくことが望ましい。

- ① 低学年の通学と冬期間を考え、安心・安全で子ども達に負担がかからない通学方法を考慮した、合理的な位置。
- ② 保護者や来客等を考慮し、駐車場の確保等も含め一定規模の敷地面積は必要。
- ③ 小中連携教育や災害時の避難所機能なども考慮した位置。

5 統合の実施時期

統合の実施時期については、児童の減少数を考慮しながら段階的な統合とし、城北中学校区の統合小学校開校を概ね5年後、城南中学校区の統合小学校開校を概ね10年後の目標とすることが望ましい。

【中学校関係】

6 中学校教育のための適正規模

小学校と同じく、中学校教育を進めるためには一定規模の生徒数が必要であり、複数学級とすることが生徒にとっても学校運営としても必要であることから、小学校と同じく1学年36人以上、学校全体では3学年108人以上の生徒数とすることが望ましい。

7 具体的な中学校の配置

現在、中学校は2校であり、生徒数の減少等を考慮しながら、統合中学校を配置することが望ましい。

8 統合の実施時期

統合の実施時期については、城北中学校が全学年単級となることが想定される概ね15年後を目標とすることが望ましい。

9 具体的な統合中学校の検討

統合中学校については、統合の整備時期が10年以上先となることから、10年後の生徒数や市の状況等を踏まえながら、改めて検討することが望ましい。

【統合学校の目指す姿】

10 各種教育・学力向上とふるさと学習の推進

学校統合により発生する資源等（人・もの・財源）を活用し、ICT 教育・英語教育や学力向上に向けた施策とふるさと学習の充実を図るなど、飯山市学校教育の魅力作りを進めます。

11 小中一貫教育カリキュラムの実践

中学校区毎に 1 校の統合小学校が開校されることで、城南・城北中学校区それぞれが小中連携した学びのためのカリキュラム構築が可能となることから、『小中連携カリキュラム』を研究し、9 年間での学校教育カリキュラムの構築を目指します。

【保育園関係】

12 保育園の適正規模・配置等

飯山地区公立保育園の「あきは保育園」と「しろやま保育園」の統合については、令和 3 年 4 月にしろやま保育園施設において新保育園を開設することは決定しています。

他の保育園については、課題検討委員会答申において、「小学校区単位を基本とした保育園配置」により検討するとなっていることから、統合小学校の位置等が決定した段階において再度検討することが望ましい。

【その他】

13 児童クラブ・児童センターについて

小学校統合に伴い、児童クラブ・児童センターについても統合が必要になります。

城南・城北中学校区の新たな児童クラブ・センターについては、統合小学校と併設するのか、歩ける範囲に施設を整備するのかは検討が必要です。

14 通学方法について

通学方法について統合に向けて、現在の基準も含め検討が必要です。

（補足事項）

この答申内容を尊重し、具体的な学校統合の位置・内容等については、市教育委員会において計画書を作成し、保護者や地域住民への十分な説明と意見を聞きながら進めていくことを要望します。

(参 考)

「飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会」経過報告

令和元年 7 月 28 日 第 1 回学校・保育園適正規模等検討委員会 委嘱状交付及び諮問等

令和元年 8 月 20 日 第 2 回学校・保育園適正規模等検討委員会 児童等推移と適正規模

令和元年 10 月 28 日 第 3 回学校・保育園適正規模等検討委員会 学校適正規模・配置等

令和元年 11 月 25 日 第 4 回学校・保育園適正規模等検討委員会 学校位置・保育園配置
等

令和元年 12 月 25 日 第 5 回学校・保育園適正規模等検討委員会 答申案協議
(最終委員会)

令和 2 年 1 月 17 日 答申書 提出

「学校・保育園適正規模等検討委員会」委員名簿 ◎は委員長、○は副委員長（敬称略）

佐藤 正行	前区長会協議会長（前課題検討委員）	◎
池田 澄子	民生児童委員協議会長（前課題検討委員）	○
井田 秀行	前課題検討委員会副会長	
服部 敏夫	区長会協議会長（飯山地区区長会長）	
松木 隆一	区長会協議会副会長（太田地区区長会長）	
高橋 英一	区長会協議会副会長（木島地区区長会長）	
丸山 則幸	秋津小学校PTA会長	
小澤 稔	飯山小学校PTA会長	
岡 純治	泉台小学校PTA会長	
清水 健太	常盤小学校PTA会長	
平井 哲也	戸狩小学校PTA会長	
吉越 伸吾	東小学校PTA会長	
小林 義幸	木島小学校PTA会長	
木村 豊	城南中学校PTA会長	
松木加代子	城北中学校PTA会長	
高橋信一郎	飯山市中学校長会長（城南中学校校長）	
中澤 正幸	飯山市小学校長会長（飯山小学校校長）	
佐々木麻希子	しろやま保育園保護者代表	
常田 真里	めぐみ保育園保護者代表	
鷲森 弘毅	めぐみ保育園長	
中村まゆみ	しろやま保育園長	